




新潟県の経済情勢報告

令和 8 年 4 月 22 日
財務省関東財務局
新潟財務事務所

お問い合わせ先
関東財務局新潟財務事務所財務課
電話番号 025-281-7503

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、持ち直している」









項目	前回（8年1月判断）	今回（8年4月判断）	前回比較
総括判断	持ち直している	持ち直している	

（注）8年4月判断は、前回8年1月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、緩やかに持ち直している。生産活動は、横ばいの状況にある。雇用情勢は、改善に向けたテンポが緩やかになっている。

【各項目の判断】

項目	前回（8年1月判断）	今回（8年4月判断）	前回比較
個人消費	物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	
生産活動	横ばいの状況にある	横ばいの状況にある	
雇用情勢	改善しつつある	改善に向けたテンポが緩やかになっている	
設備投資	7年度は増加見込みとなっている	7年度は増加見込みとなっている	
企業収益	7年度は増益見込みとなっている	7年度は増益見込みとなっている	
企業の景況感	「下降」超幅が縮小している	「下降」超幅が拡大している	
住宅建設	前年を上回っている	前年を下回っている	
公共事業	前年を下回っている	前年を下回っている	

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が持ち直しを支えることが期待されるものの、中東情勢の影響を注視する必要がある。また、金融資本市場の変動の影響や米国の通商政策をめぐる動向などに注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「緩やかに持ち直している」

百貨店・スーパー販売額、コンビニエンスストア販売額、家電大型専門店販売額、ドラッグストア販売額、ホームセンター販売額、乗用車新車登録届出台数は前年を上回っている。宿泊や飲食サービスは、持ち直している。このように個人消費は、緩やかに持ち直している。

(主なヒアリング結果)

- 物価上昇の影響もあるが、売上げは前年を上回った。コメの価格が下がってきたことにより、動きの鈍かった銘柄米も含めて販売は好調であるが、以前ほどは全体の売上げを牽引しなくなってきている。(百貨店・スーパー)
- 新型スマートフォンの販売が引き続き好調なことに加え、エアコンの省エネ基準が厳格化されることによって、基準を満たさないモデルに対する駆け込み需要がみられた。(家電量販店)
- 物価高のなか、購入点数が減少するなど節約志向がみられるものの、売上げは微増となった。また、3月に入ると塩化ビニール製品・塗料・ビニール袋等の石油由来の製品の売上げが特需的に伸びており、中東情勢の影響による値上がりを懸念したものと思われる。(ホームセンター)
- メーカーからの出荷に制限がかかり、受注可能な車種が限られているなか、新型車の販売は好調である。今年の3月は、環境性能割の課税が終了することによる買い控えがみられた。(自動車販売)
- 物価高を背景に、宿泊単価を引き上げているものの、旅行需要の鈍化は見受けられず、宿泊客数は堅調に推移している。(宿泊)
- メニューの価格改定を実施したが、利用客には受け入れられており、客単価の上昇により、売上げが増加した。(飲食サービス)

■ 生産活動 「横ばいの状況にある」

鉱工業生産指数を業種別にみると、汎用・生産用・業務用機械、金属製品は低下しているものの、化学、電気・情報通信機械、輸送機械は上昇しているほか、食料品は横ばいで推移している。全体としては、横ばいの状況にある。

- 売上げがピークとなる前期の反動に加えて、物価高による買い控えの動きがみられることから、生産量が伸び悩んでいる。(食料品)
- 人手不足を背景に建設工事が進まず、当社製品の需要が減少しているため、生産量が減少している。(生産用機械)
- 今年は1月に入ってから寒い日が続き、例年よりも需要期が長引いたものの、需要のピークを迎え売行きが好調だった前期と比較すると生産量は若干減少した。(金属製品)
- AI半導体の需要が大きく伸長し、先端向け300mmウエハの不足感が強まっているためか、当社が取り扱う汎用向け200mm、150mmウエハにも代替需要が現れており、生産量が増加している。(電気機械)
- 完成車メーカーからの受注が引き続き好調で、生産量は概ね横ばいで安定して推移している。ただ、燃料油や一部の金属材料の調達が従来と比べて難しくなっており、今後の生産への影響を懸念している。(輸送機械)

■ 雇用情勢 「改善に向けたテンポが緩やかになっている」

新規求人数は減少し、有効求人倍率は横ばいで推移していることから、雇用情勢は、改善に向けたテンポが緩やかになっている。

- 整備士が不足しており、他社と取り合いになっているため、なかなか人手を確保できないことから、整備作業の工程を見直すなど現員での対応を考えなければならない。(小売)
- 求人を出しているが、人が集まらず、主に製造部門において人手が不足しているため、今後、一部工程を外部委託することも検討している。(製造)

■ 設備投資 「7年度は増加見込みとなっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」8年1-3月期

- 7年度の設備投資計画をみると、製造業では前年比45.6%の増加見込み、非製造業は同5.1%の減少見込みとなっており、全産業では同17.9%の増加見込みとなっている。

■ 企業収益 「7年度は増益見込みとなっている」 (全規模) 「法人企業景気予測調査」8年1-3月期

- 7年度の経常利益(除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」)をみると、製造業は前年比2.6%の減益見込み、非製造業は同6.9%の増益見込みとなっており、全産業では同3.0%の増益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『下降』超幅が拡大している」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」8年1-3月期

- 景況判断BSIをみると、全規模では「下降」超幅が拡大している。先行きについては、全規模では8年4-6月期は「下降」超幅が縮小する見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を下回っている」

- 新設住宅着工戸数をみると、持家、貸家、分譲住宅は前年を下回っている。

■ 公共事業 「前年を下回っている」

- 公共工事請負金額をみると、国、県、市町村は前年を下回っている。

新潟県の経済情勢報告

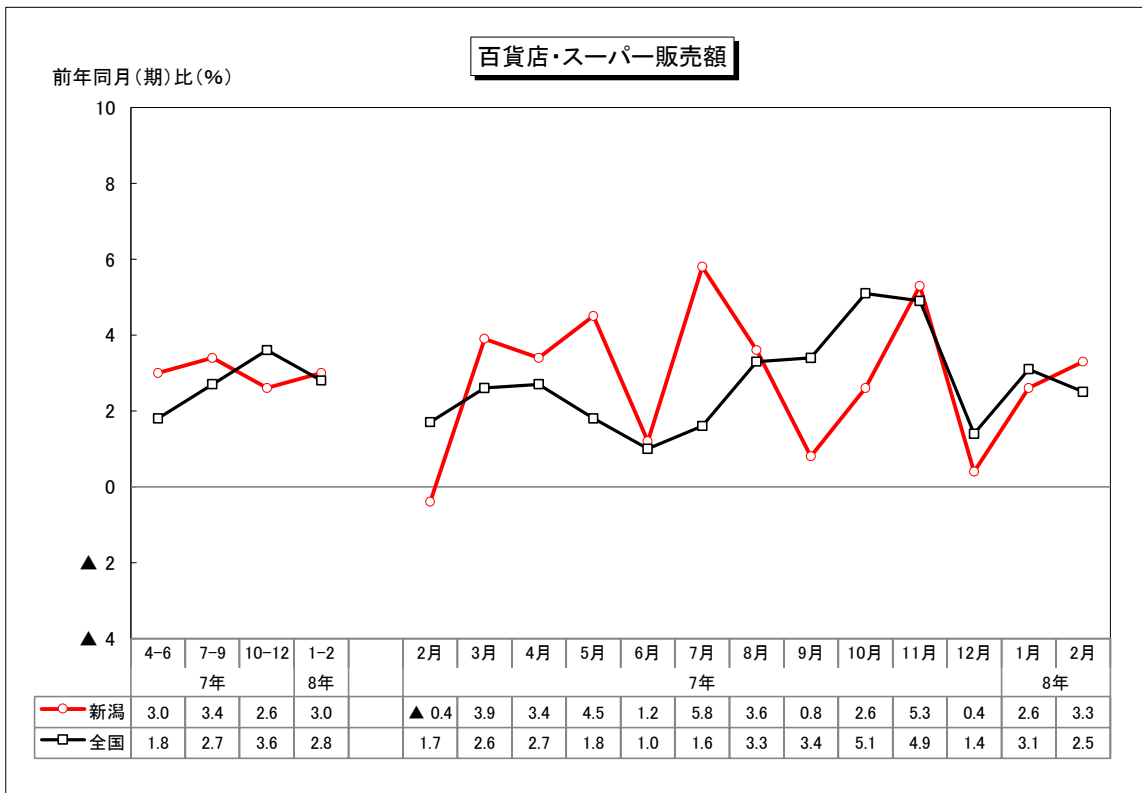
資料編

※掲載した経済指標等については速報値を含む。

1. 個人消費

緩やかに持ち直している

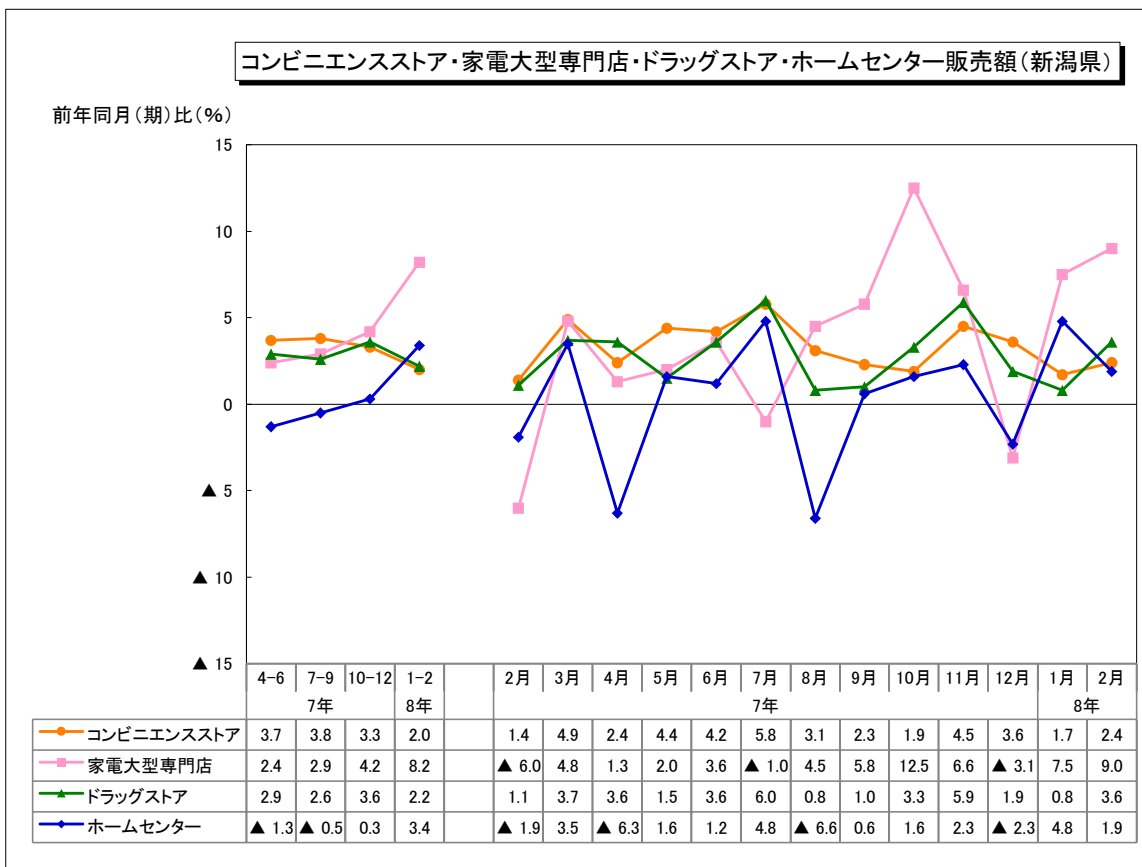
【グラフ1】



(注)前年同月(期)比は全店ベース。

【経済産業省】

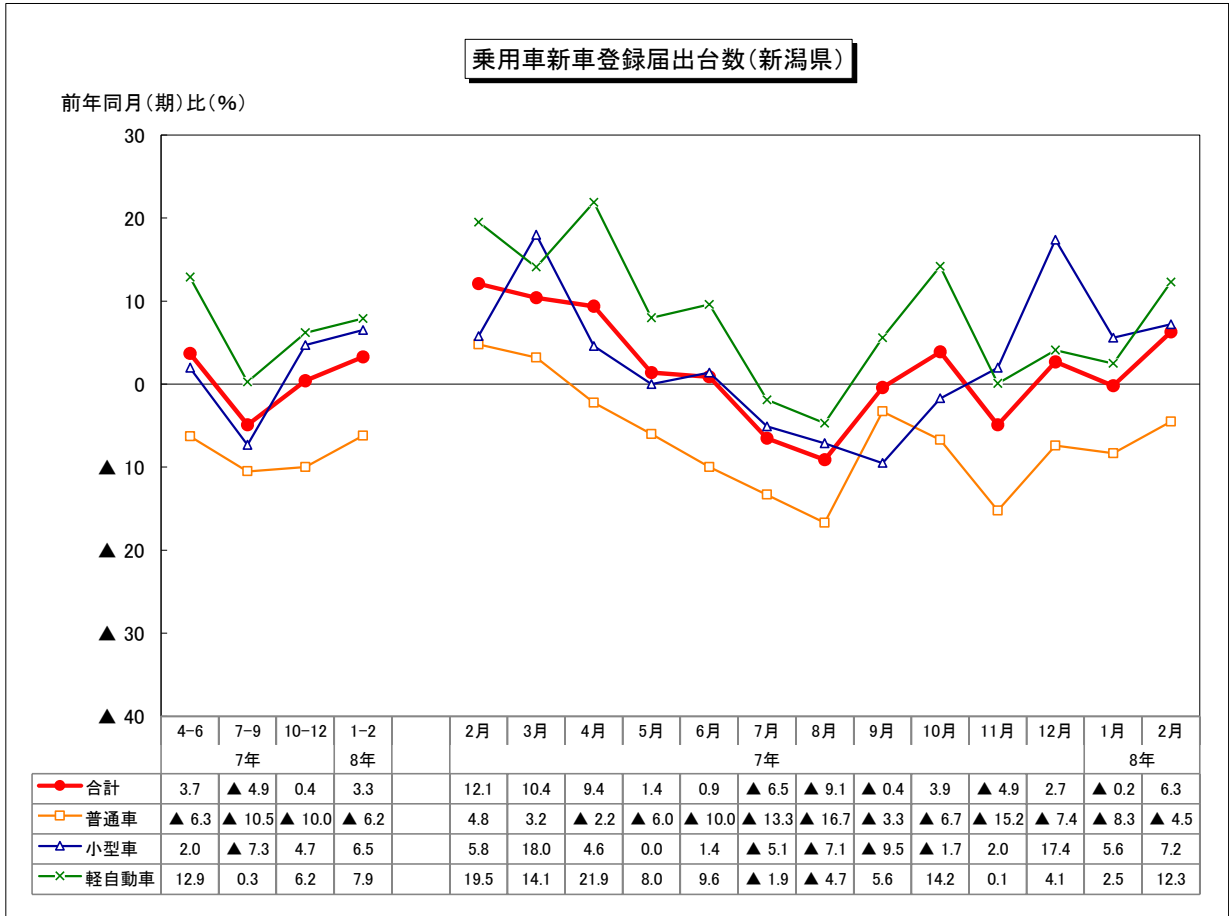
【グラフ2】



(注)前年同月(期)比は全店ベース。

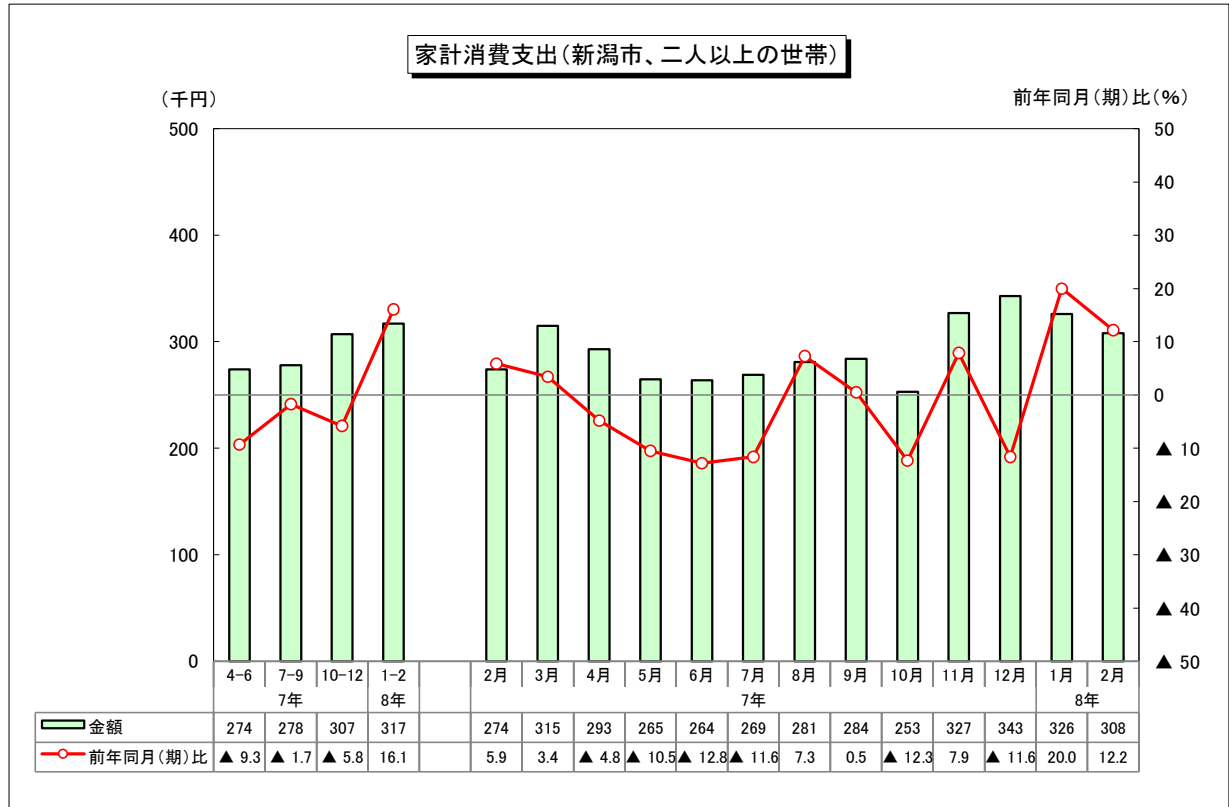
【経済産業省】

【グラフ3】



【日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会】

【グラフ4】

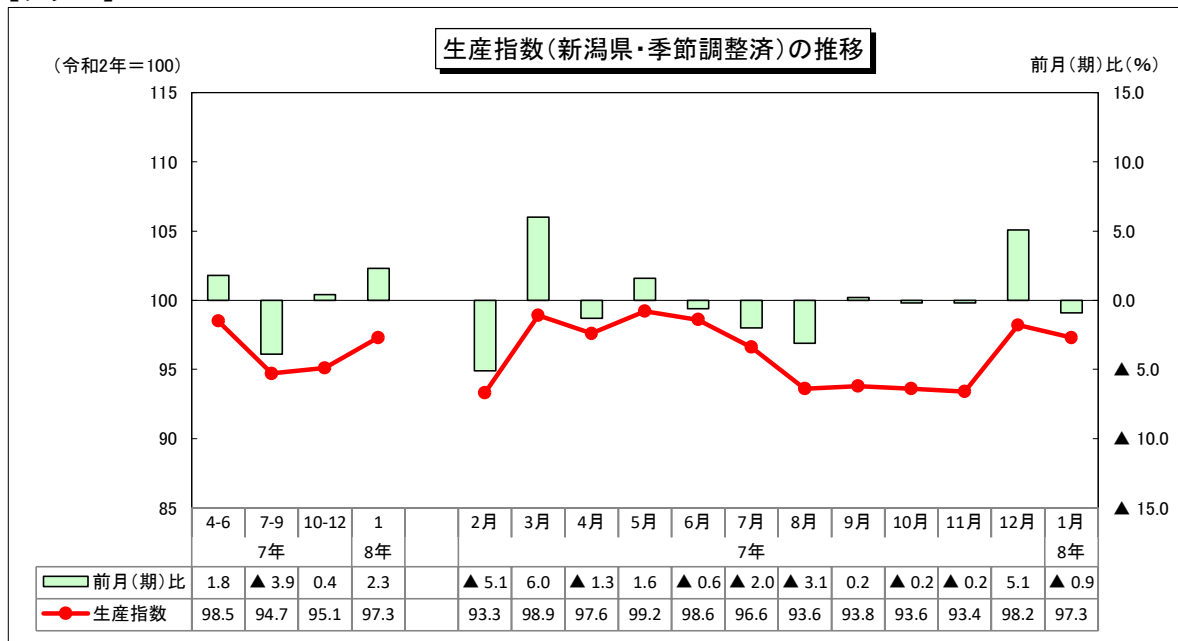


【総務省】

2. 生産活動

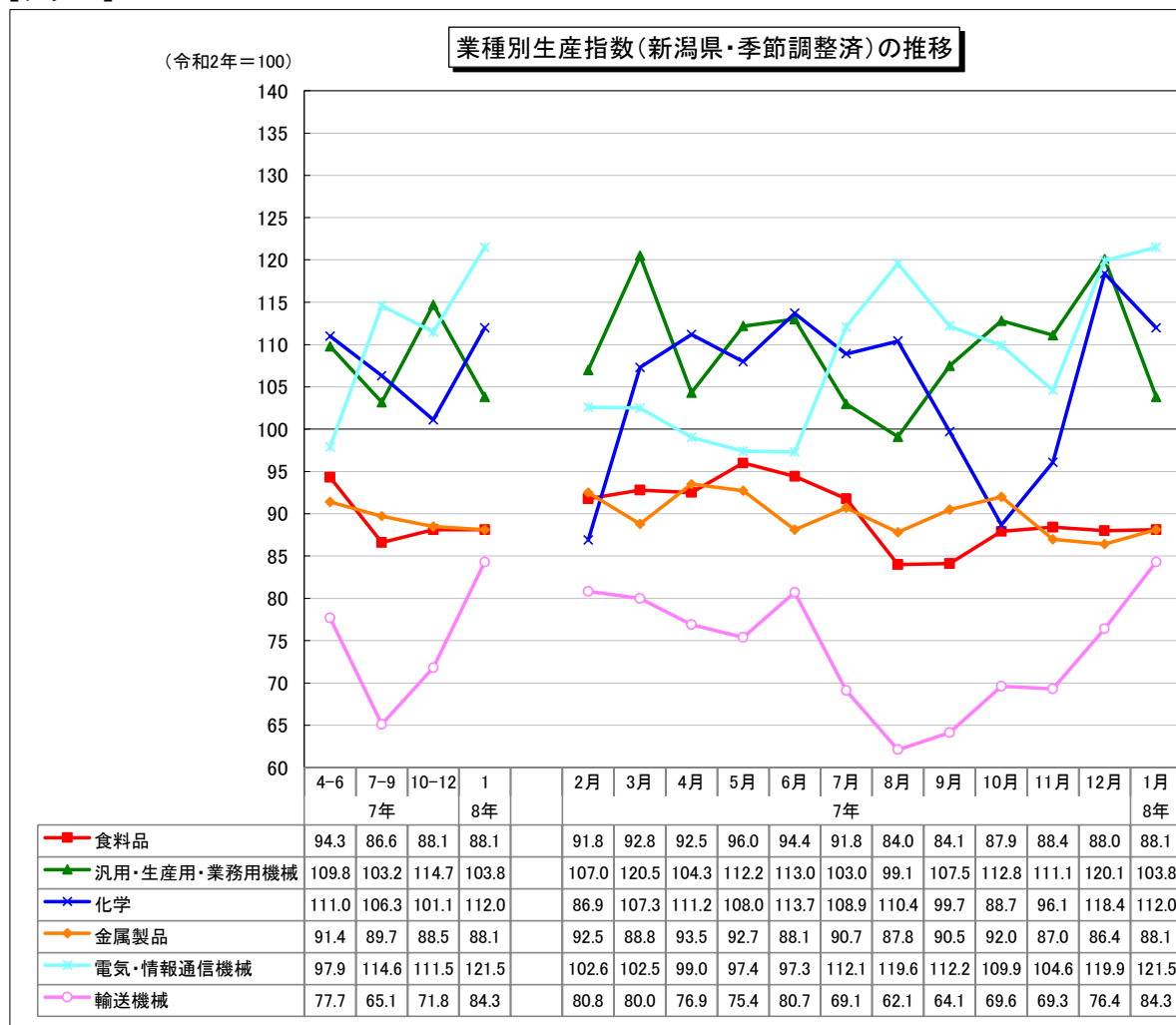
横ばいの状況にある

【グラフ5】



【新潟県】

【グラフ6】

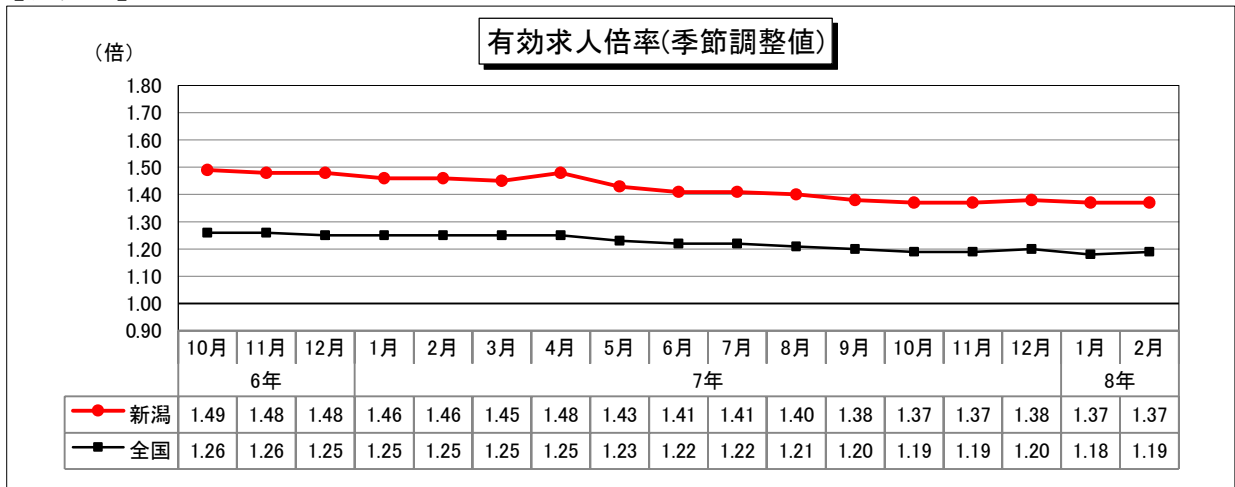


【新潟県】

3. 雇用情勢

改善に向けたテンポが緩やかになっている

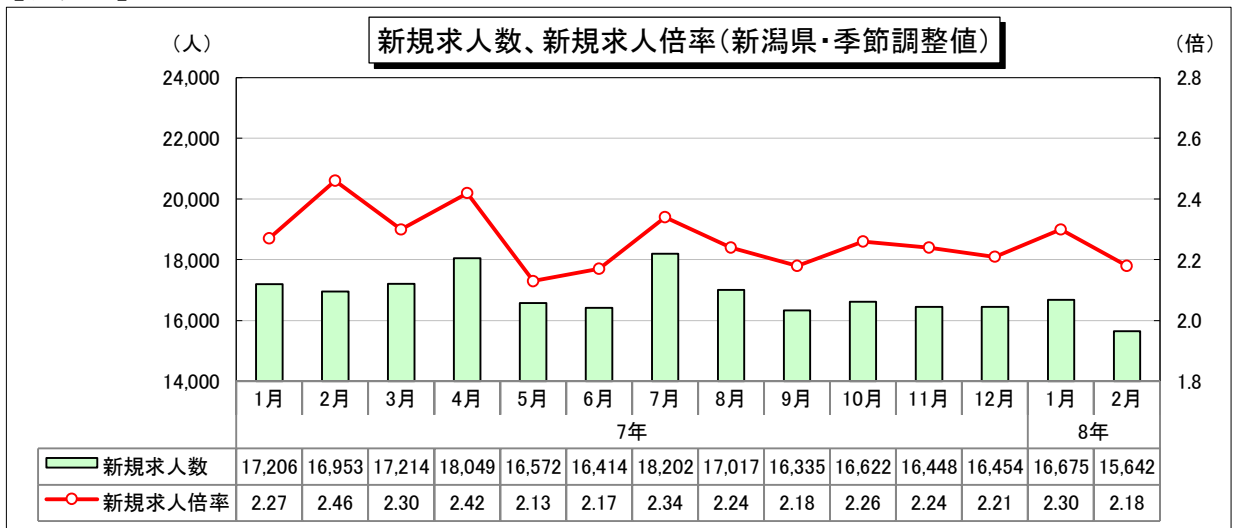
【グラフ7】



(注)パートを含む。

【厚生労働省】

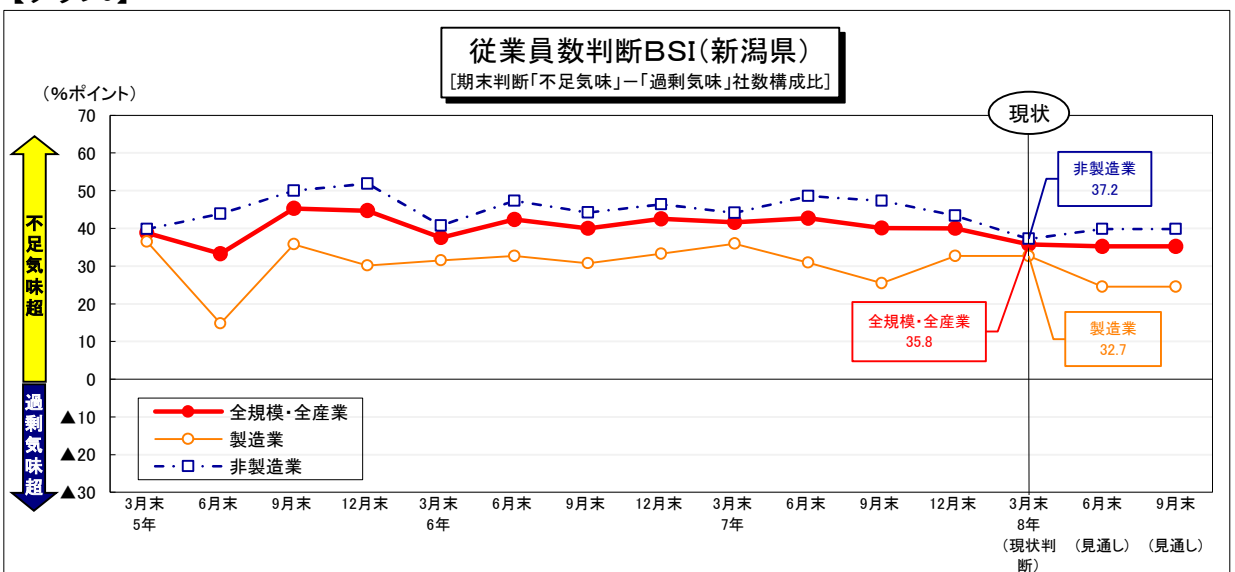
【グラフ8】



(注)パートを含む。

【厚生労働省】

【グラフ9】

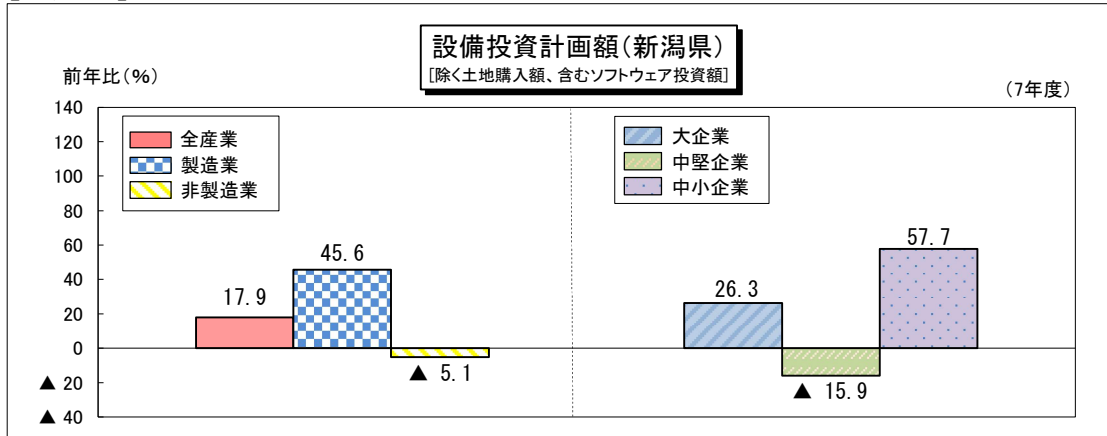


【新潟財務事務所(法人企業景気予測調査)】

4. 設備投資

7年度は増加見込みとなっている

【グラフ10】

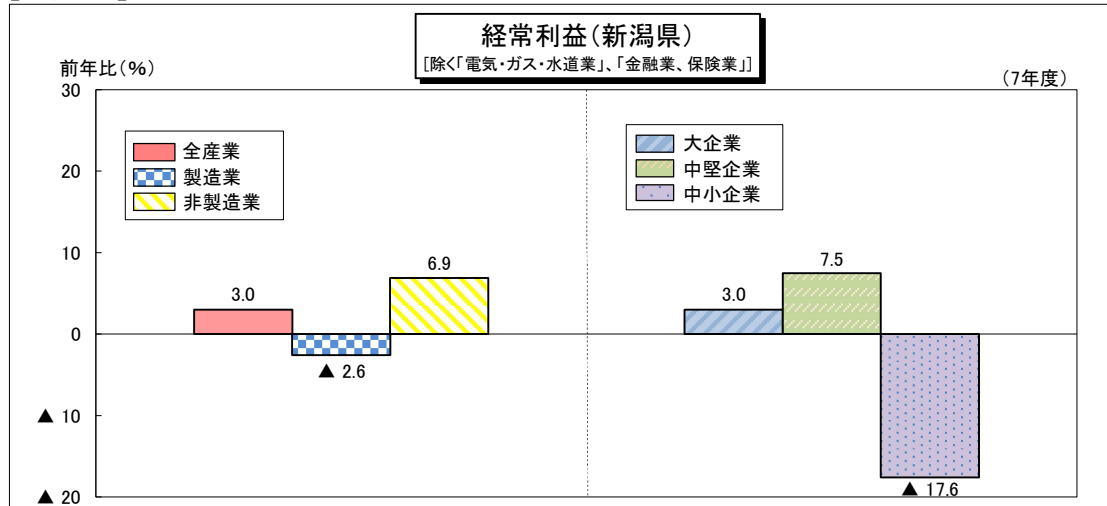


【新潟財務事務所(法人企業景気予測調査)】

5. 企業収益

7年度は増益見込みとなっている

【グラフ11】

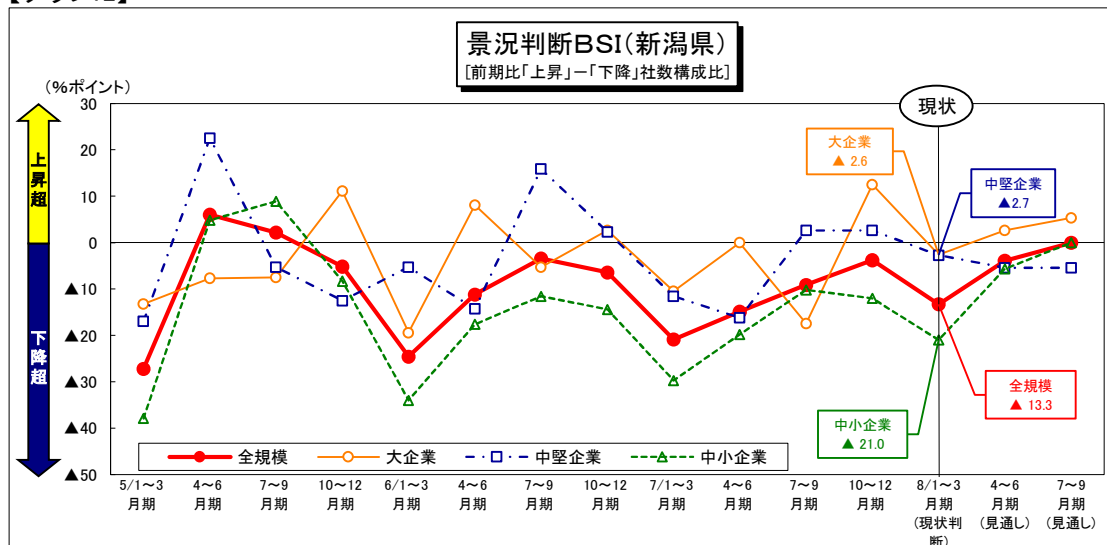


【新潟財務事務所(法人企業景気予測調査)】

6. 企業の景況感

「下降」超幅が拡大している

【グラフ12】

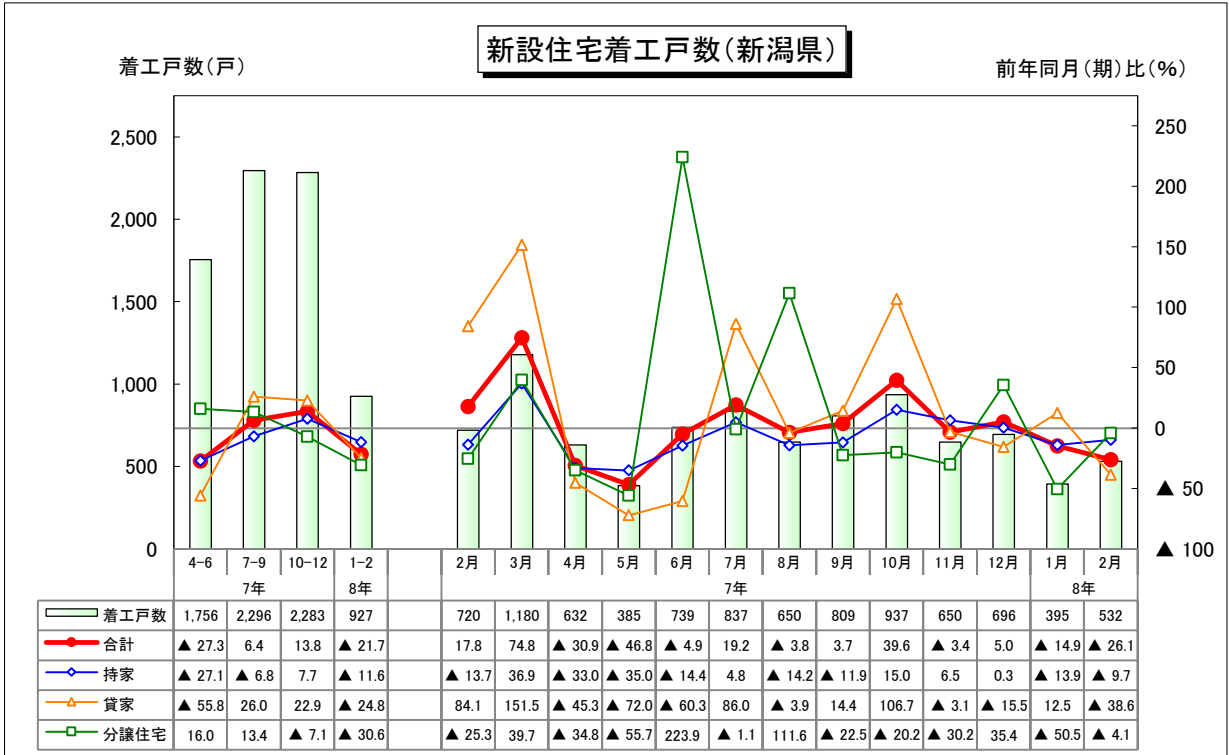


【新潟財務事務所(法人企業景気予測調査)】

7. 住宅建設

前年を下回っている

【グラフ13】

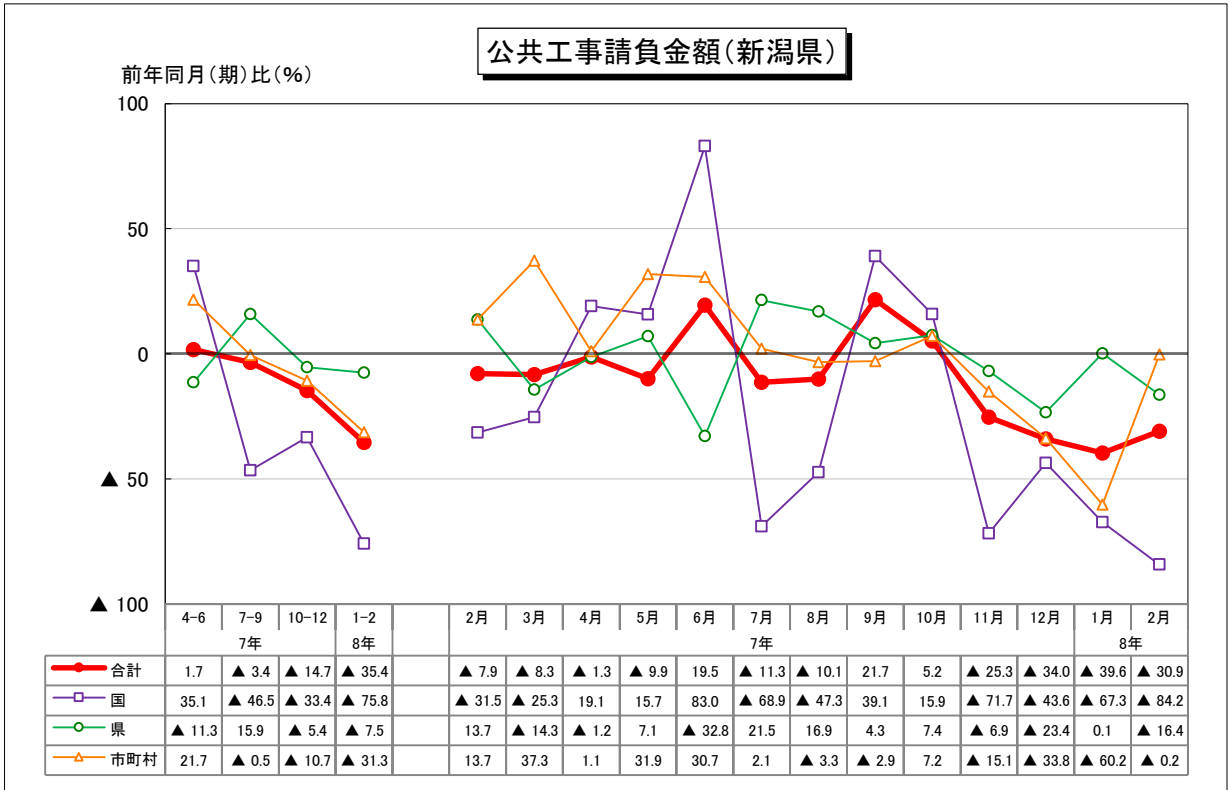


【国土交通省】

8. 公共事業

前年を下回っている

【グラフ14】

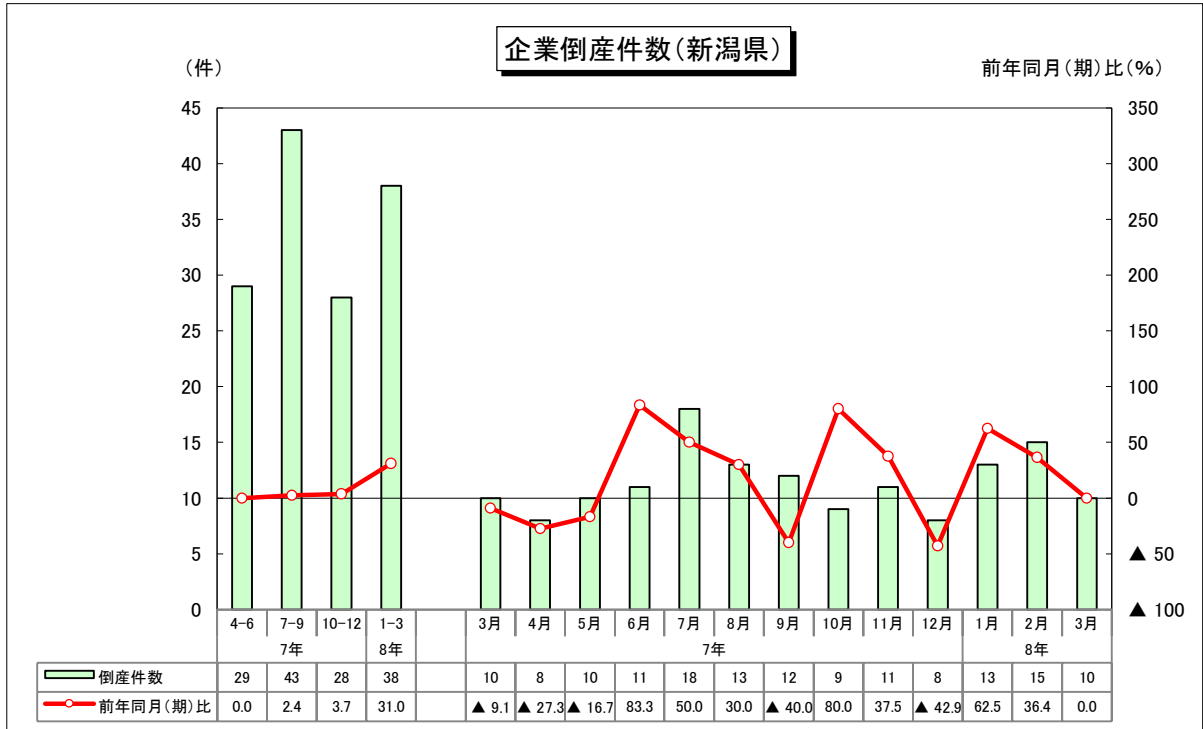


【北海道建設業信用保証㈱、東日本建設業保証㈱、西日本建設業保証㈱】

(参考) 企業倒産

倒産件数は前年を上回っている

【グラフ15】



【東京商工リサーチ】